

能定期会観世

KANZE-KAI TEIKINOH 2026 July

7月



Sakahoko

能 逆矛

替装束



坂口 貴信

Sakaguchi Takanobu

Hajitomi

能 半部



梅若 紀長

Umewaka Norinaga

Daibutsukuyo

能 大仏供養



武田 文志

Takeda Fumiyuki

令和8年7月5日(日)

12時20分開場 午後1時開演

SUN, Jul 5, 2026 | Open 12:20 Start 13:00

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

KANZE NOH THEATER

●能面

小牛尉 (江戸時代)

Koushijo

<お客様への御案内>

- ・国の方針を踏まえ、館内でのマスクの着用はお客様ご自身のご判断とさせていただきます。
- ・検温、手指消毒につきましては、場内に機器を設置しておりますので、随時ご利用下さい。
- ・公演中は見所扉を開めさせていただきますが、換気システムおよび空気清浄機は常時作動しております。
- ・発熱、咳などの症状がある場合は、ご来場をお控え頂きますようお願い申し上げます。
- ・今後、感染症について行政当局より新たな方針が発表された場合、変更が生じることがございます。

チケット予約・お問い合わせ

(ネットで予約・コンビニ発券)

観世会 | TEL: 03-6274-6579 観世ネット | www.kanze.net

チケット発売

能楽堂販売 (5月定期能来場者限定) 令和8年5月3日(日)
電話・インターネット 令和8年5月5日(火)午前10時より

料金(税込)※全席指定

Price(Including Tax, All Seats Reserved)

SS指定席12,500円 S指定席10,000円 A指定席7,500円 学生席4,200円

ハッピーアワーチケット

一般3,000円 学生1,500円

*当日空席が出た場合、休憩終了後よりご入場いただけるハッピーアワーチケットを午後4時20分より販売いたします。事前販売はございませんので、当日の御席のご用意がない場合は販売をいたしません。あらかじめご了承ください。



山田古典の日

令和8年7月5日(日)観世会定期能
午後1時開演

【演目・出演者】

能 逆矛 替装束			
前シテ/尉	坂口 貴信	後見	山階彌右衛門
後シテ/瀧祭明神	大日方 寛		林喜右衛門
ワキ/朝臣	久田勘吉郎	地謡	観世三郎太
前ツレ/宮人	坂井 音隆		杉浦 豊彦
後ツレ/天女	野村 太一郎		藤波 重彦
間狂言/龍田山麓ノ者			松木 千俊
笛	藤田 次郎		角 幸二郎
小鼓	田邊 恭資		坂井 音晴
大鼓	亀井 洋佑		武田 宗典
太鼓	小寺真佐人		関根 祥丸

狂言 鐘の音			
太郎冠者	野村 萬斎		
主	石田 幸雄		

休憩20分(午後2時50分頃)

能 半部			
前シテ/里女	梅若 紀長	後見	観世 清和
後シテ/夕顔女	則久 英志		上田 公威
ワキ/僧	高野 和憲	地謡	武田 宗和
間狂言/所ノ者			岡 久広
			中島志津夫
			津田 和忠
笛	杉 信太郎		北浪 貴裕
小鼓	曾和 正博		武田 友志
大鼓	大倉栄太郎		坂井 音雅
			武田 崇史

休憩15分(午後4時30分頃)

能 大仏供養			
シテ/悪七兵衛景清	武田 文志	後見	武田 尚浩
ワキ/頼朝ノ臣	村瀬 提		野村 昌司
子方/源頼朝	坂口 和貴	地謡	関根 知孝
前ツレ/景清ノ母	岡庭 祥大		浅見 重好
後ツレ/頼朝ノ従者	佐川 勝貴		藤波 重孝
後ツレ/頼朝ノ従者	金子 聡哉		大松 洋一
後ツレ/頼朝ノ従者	武田 祥照		清水 義也
間狂言/春日ノ里人	野村 裕基		木月 宣行
笛	成田 寛人		田口 亮二
小鼓	曾和伊喜夫		杉浦悠一朗
大鼓	柿原 光博		

附 祝 言

終演予定 午後5時45分

- ・諸般の事情により、演目・上演形式・出演者の変更の場合もございます。
- ・館内の空調はお席によっては冷暖房の温度高低に差がございます。予め御留意いただきますようお願い申し上げます。
- ・公演中の無断撮影、録音は著作権等の法律に抵触いたしますので、固くお断り申し上げます。
- ・演能中の見所への入退場につきましては、制限させていただきます場合がございます。何卒ご了承ください。

【あらすじ】

能 逆矛 替装束(さかほこ かえしょうぞく)

帝に仕える朝臣が参詣のため、龍田山へ赴く。一行が参詣していると、癖の杖を持つ老人と松明を手にした宮人が通りかかり、龍田山の夜祭へ案内する。朝臣に老人は天逆矛の謂れを語り、老人は自分こそ瀧祭明神と正体を明かして姿を消す。その夜、仮寝をする朝臣のもとに、妙なる音楽が響き、天女が現れ、舞を舞い、矛を携えた瀧祭明神が姿を現し、伊弉諾尊・伊弉冉尊が矛を下して国遣りをした様子を見せ、矛の徳を讃える。

狂言 鐘の音(かねのね)

息子の元服に際し、黄金の太刀を作ろうと思った主人は、太郎冠者に鎌倉に行き「金の値」を聞いてこい、と命じる。それを「鐘の音」と勘違いした冠者は、鎌倉で鐘の音色を聞き比べて帰ってくる。そして次々に寺の鐘の音について主人に報告するが...

能 半部(はじとみ)

花供養をする雲林院の僧の前に女が現れ、夕顔の花を手向けるので、名を尋ねると五条辺りの者だと告げて消え失せる。僧が言われた通りに五条辺りに赴くと、半部が夕顔の花が咲く荒れ果てた一軒家があった。そこで申いをする僧の前に、夕顔の女の霊が戸を押し上げて現れ、光源氏との昔を懐かしんで舞を舞う。

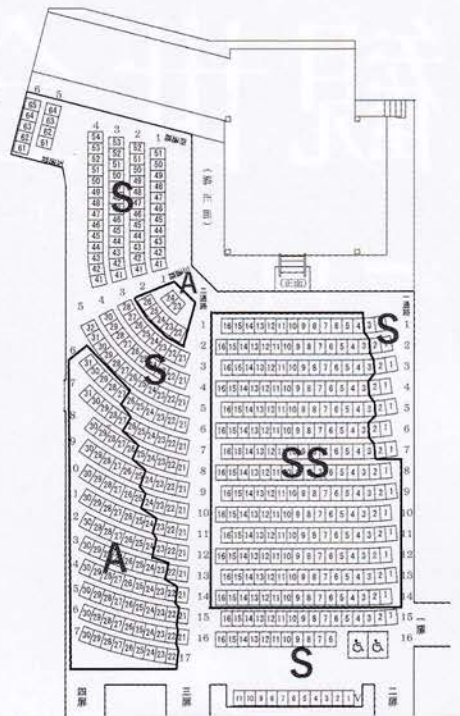
能 大仏供養(だいぶつくよう)

世をしのぶ身となった平家の遺臣・悪七兵衛景清は、東大寺・大仏殿の落慶法要に源頼朝が参詣することを知り、頼朝を討とうと、若草山の麓に住む母に暇乞いをする。法要の日に東大寺に参詣した頼朝に、景清は春日社の神職を装って近づこうとするが、見破られると名乗りを上げ頼朝の従者達と戦う。しかし、今はこれまでと、次の機会を狙うべく春日山に身を隠し、姿を消すのだった。

●能面解説

小牛尉(こうしじょう)

眼窩に落ち窪んだ目や張り出した頬骨に目を奪われる一方で、褐色の肌が引き締まった印象を与えている。下唇と顎は植毛の髭であるのに対し、上唇のそれは毛描きとなっている。能面の名称は、世阿弥の『申楽談義』にも記載のある名工・小牛清光に由来する。河内作。江戸時代。



令和8年8月観世会定期能のお知らせ

8月2日(日) 午後1時始

野宮 観世三郎太
融 観世 恭秀

チケット発売 会場販売 6月7日(日)
電話・インターネット 6月9日(火)

能楽はユネスコ(国際連合教育科学文化機関)による第1回「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受け、世界無形遺産に認定されております。

二十五世観世左近記念

観世能楽堂

東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3F
Tel: 03-6274-6579

地下鉄銀座駅からGINZA SIX地下2階につながる地下通路がございます。

- 銀座駅/東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線
A5出口より徒歩2分
- 東銀座駅/東京メトロ日比谷線・都営浅草線
A1出口より徒歩3分
- 有楽町駅/JR山手線・京浜東北線/
東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分



暮らしを彩る、レイノアの輝き。
1849年、フランスリモージュ地方で生まれたレイノア。エレガントな輝きとこだわりのデザインは、フランスを始め世界各国の著名なホテルやレストランのシェフ達から愛されています。

ERCUIS RAYNAUD
エルキュイ・レイノア 青山店 Tel.03-3797-0911
ハウス食品グループ株式会社は、レイノア社製品の総輸入販売代理店です。

House ハウス食品グループ

